

CARPODGO

CarpodGO 外観仕様



箱に含まれる標準付属品



固定コンソールマウント



9V電源コード



OTG



取扱説明書

無料提供



吸盤マウント
(コンソールガラス専用)

箱に含まれないオプション付属品



バックアップカメラ



Bluetooth AUXレシーバー
(車にBluetoothを追加)



Bluetooth FMトランスミッター
(車にBluetoothを追加)

挿図内の製品、付属品、ユーザーインターフェースなどはすべて参考用のイメージです。製品の更新やアップグレードにより、実物とイメージに若干の違いが生じることがありますので、実物を優先してください。(購入ルートによっては、オプションの付属品が付属する場合がありますが、標準付属品は同じです)

設置と固定

- 画面の底部は必ずセンターコンソールに置き、底部が支えられるようにしてください。底部が浮いていると、落下する恐れがあります。
- 付属のスタンドは画面の位置を固定し、画面を立てるためのものであり、画面の重さを支えることはできません。

小型スタンドの固定

(おすすめ度: ★★★★★)



ガラス吸盤スタンドの固定

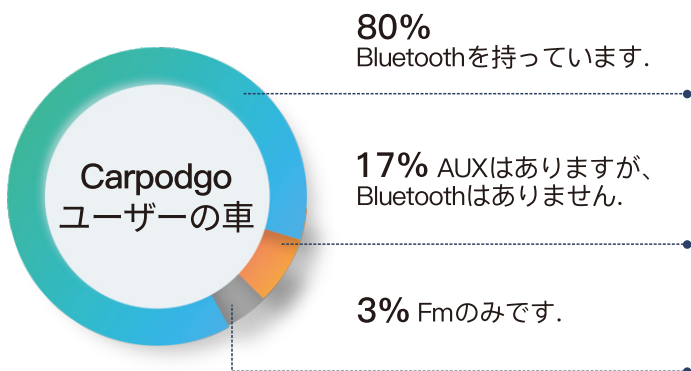
(おすすめ度: ★★★★★☆)



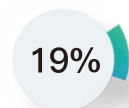
Tesla (旧型3/Y) 専用スタンド



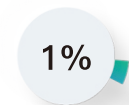
自動車オーディオとの接続



ユーザーの80%
ディスプレイ専用Bluetoothモード

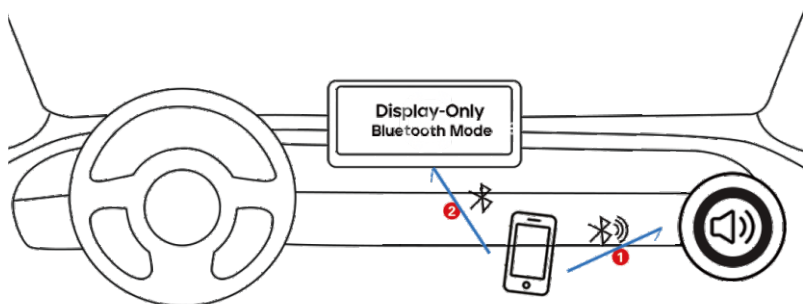


ユーザーの19%
ディスプレイ専用モード+ AUX Bluetoothレシーバー
ディスプレイ専用モード+ FM Bluetoothレシーバー



ユーザーの1%
AUXケーブル接続
FM出力
スピーカー

純表示Bluetoothモード



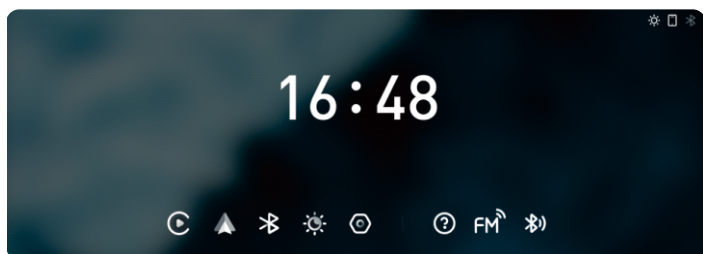
純表示Bluetoothモードでは、画面は音声に関与しません。すべての音声はスマートフォンによって制御され、スマートフォンは車のBluetoothに同時に接続して音声を再生し、元の車のマルチファンクションステアリングボタンとマイクをサポートします。

純表示Bluetoothモードでは、スマートフォンは設置されたaux Bluetoothレシーバーまたはfm Bluetoothレシーバーにも接続できます。

スマートフォンが画面に接続された後、画面がauxケーブルまたはfmで音声を車のオーディオに送信する場合に比べ、純表示Bluetoothモードの方が遅延が少なく、音質が安定しています。スマートフォンが画面に無線carplayで接続されると、ロスレスフォーマットの音楽はサポートされないため、画面を介してauxで車に接続した音質はロスレスとは言えません。純表示Bluetoothモードでは、スマートフォンが直接auxケーブルで車のオーディオに接続することで、真のロスレス音質再生が可能です。(スマートフォンがauxケーブルで車に接続して電話をかける場合はハンズフリーをオンにする必要があります)

無線CarPlayまたはAndroid Autoの接続

- ステップ1: スマートフォンのBluetooth画面を開きます。
- ステップ2: 製品のBluetooth名「PND_XXXX」を検索します。
- ステップ3: このBluetoothとペアリングします。
- ステップ4: スマートフォンに表示されるCarPlay車載またはAndroid Autoのプロンプトを許可します。



(注意: 無線CarPlayまたはAndroid Autoの接続原理は、Bluetoothペアリング後に自動的にWi-Fiローカルネットワークが生成され、自動的に接続されることです。スマートフォンではBluetoothペアリングだけを行い、Wi-Fi接続を手動で試みないでください。そうしないと、Wi-Fiチャンネルが占有される可能性があります。)

• 再接続方法一

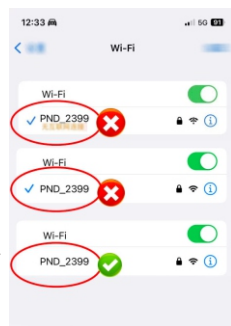
- ステップ1: スマートフォン - 設定 - 一般 - CarPlay車載 - carpodgo - この車を無視します。
- ステップ2: スマートフォン - Bluetooth - PND_XXXX - このBluetoothデバイスを無視します。
- ステップ3: スマートフォンを再起動します。
- ステップ4: スマートフォンを再びBluetooth「PND_XXXX」に接続します。

• 再接続方法二

- ステップ1: スマートフォン - 設定 - Wi-Fiを確認します(Wi-Fiが接続されている場合) - このWi-Fiを削除します。
- ステップ2: 再接続方法一を実行します。

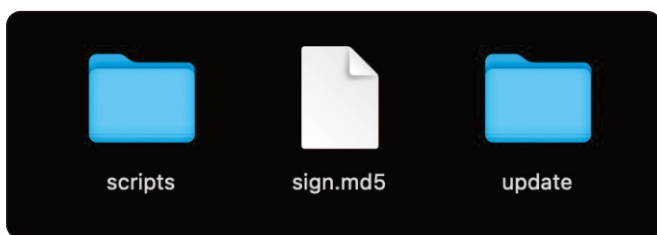
• 再接続方法三

- ステップ1: スマートフォンのSiri機能またはWi-Fiが有効になっているか確認します。
- ステップ2: 再接続方法一を実行します。



システムアップグレードの手順

- 1) 64GB以下のUSBメモリを準備し、fat32形式にフォーマットします。
(USBメモリの代わりにメモリーカード+カードリーダーも使用可能です)
- 2) アップグレードソフトウェアを解凍し、3つのファイルを取得します。
(下図参照)



- 3) これらの3つのファイルを空のUSBメモリ (空のUSBメモリはルートディレクトリとも呼ばれます) に置き、OTGアダプターを使用しUSBメモリを画面のUSBポートに接続します。
- 4) 設定 - バージョン情報 - アップグレード検索をクリックし、ファームウェアが検出されると自動的に更新が開始されます。
(画面にアップデートの進行状況バーが表示され、アップグレードが成功した後、バージョン番号の変化を確認します。
注意: アップグレード中に再起動が繰り返される場合は、作成したUSBメモリのファイルやUSBメモリのドライバが適合していないことを示しています。この場合は、別のUSBメモリを使用してアップグレードファームウェアを再作成し、デバイスに挿入してください。デバイスは自動的にファームウェアを検出し、更新を開始します。)

CarpodGO 外観仕様



製品名	CarpodGo
製品モデル	T3シリーズ
オペレーティングシステム	Linux
プロセッサ	T113
RAM	125/256MB
ストレージ	EMMC

画面	アスペクト比: 16:6 解像度: 1920x720 画面の明るさ: 700nit 技術: フルラミネーション 色深度: 1670万色 色域: 72%NTSC 画面タイプ: IPS 画面サイズ: 8.9インチ PPI:230
----	--

音声出力

- 表示専用Bluetoothモード
- スピーカー
- AUX出力
- Fmオーディオ送信

バックカメラ 重量

1080P
メインユニット: 397g
マグネットマウント: 47g
吸盤ボールヘッドマウント: 111g

Wi-Fi Bluetooth 取付方法

5GHzデュアルバンドWi-Fi
Bluetooth 5.0
マグネット/17mmボールヘッドマウント

定格入力

9V/1.5A; USB-C (PDプロトコル)

電源コネクタ

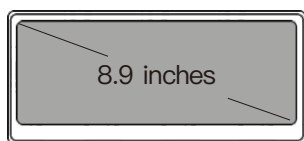
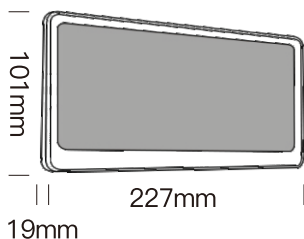
Type-C、PDプロトコル対応

寸法

長さ: 227mm

幅: 101mm

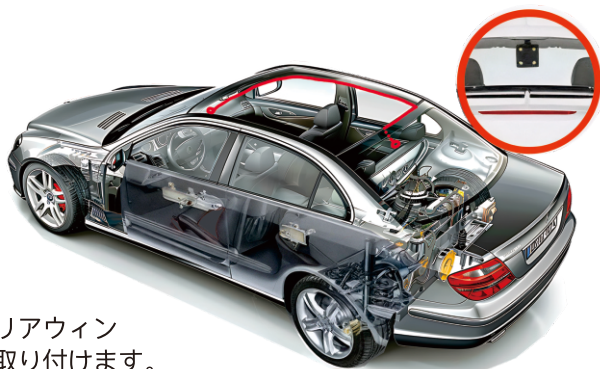
厚さ: 19mm



画面サイズ 8.9インチ

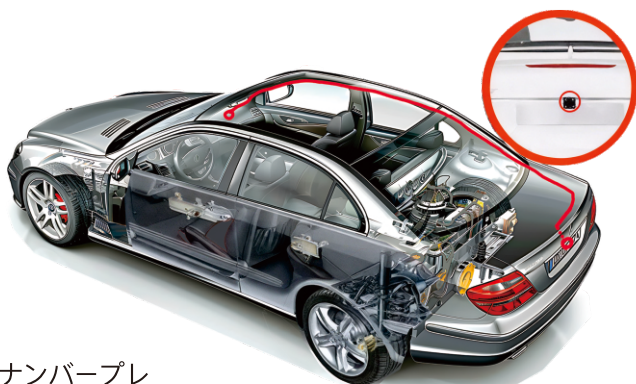
バックカメラの設置

リアカメラの配線の推奨



01.

リアカメラをリアウィンドウの上部に取り付けます。



02.

リアカメラをナンバープレートランプの上部に固定します。

バックカメラの配線



12Vトリガー線をリバースライトのプラス端子に接続してください

よくある質問

Q: バックギアに入れた後、バックカメラが反応しません**

A: • 画面に電源を供給している電源と、バックランプに接続している電源が同じ総電源から供給されているか確認してください。同じ電源システム内で回路が形成されて初めてバックカメラが作動します。

• 12Vのトリガー線が正しくバックランプの正極に接続されているか、バックランプの正極に12Vの電流があるかを確認してください。

Q: バックギアに入れた後、バックカメラが白い画面になります**

A: バックカメラの白い画面は、通常、供給電圧が不足していることを示します。標準の電源ケーブルを使用しているか確認し、標準の電源ケーブルでテストしてください。

Q: バックギアに入れた後、バックカメラがフリッカーや黒い画面になります**

A: この状況は、バックランプの12V電圧や電流が不安定で、パルス信号による干渉があることを示します。安定した12V電圧信号を確保するために、パルス信号をフィルタリングする安定化装置を接続してください。

CarpodGoの設定および使用に関する詳細な紹介は、以下のウェブサイトをご覧ください www.carpodgo.com